

第2期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

2019年度（令和元年度）取組状況

本市では、平成24年4月に策定した計画を見直し、平成30年5月に第2期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「第2期計画」）を策定しました。

第2期計画では、本市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの総排出量を基準年度（2013年度・平成25年度）と比較して、2030年度において38.9%削減することを目標としています。

2019年度（令和元年度）の取組状況をご報告いたします。

2019年度（令和元年度）の温室効果ガスの総排出量は、7,809 t-CO₂となり、基準年度比16.15%（1,504 t-CO₂）削減、前年度比6.30%削減（525 t-CO₂）、となりました。

温室効果ガスの総排出量の減少の大きな要因は、市立病院の病棟の一部閉鎖に伴う重油及び電気使用量の減少、浄化センターの事務室移転に伴う電気使用量の減少によるものです。また、暖冬で積雪量が少なかったことにより、除雪車の軽油使用量、灯油使用量が減少したことに加え、照明及び冷暖房の適正な使用等に努めたことも要因となりました。

引き続き、電気使用量、庁舎等燃料使用量等の適正使用及び削減に努め、第2期計画の目標を達成できるよう取り組んでまいります。

（単位：t-CO₂）

項 目	排出量		
	2013年度 （基準年度）	2018年度	2019年度
電気の使用	6,483	5,747	5,477
庁舎等燃料の使用 （灯油、A重油、LPG、都市ガス）	2,414	2,161	1,932
車両燃料の使用 （ガソリン、軽油）	150	145	124
下水・浄化槽の処理	258	275	271
その他 （自動車走行距離等）	8	5	5
合 計	9,313	8,333	7,809

※ 温室効果ガスの総排出量の算出は、最新の排出係数（変動係数）を使用しております。

※ 目標達成に向けた取組の成果を把握できるよう、参考として基準年度の排出係数（固定係数）を用いた数値を使用し算出すると、8,559 t-CO₂となり、基準年度比8.0%（754 t-CO₂）削減となりました。